

# 18<sup>th</sup> Science and Technology for Art

## 第18回 芸術のための科学技術

日時：2013年9月4日（水）13:30～16:30

場所：京都大学東京オフィス（東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟27階）

京都大学工学研究科先端イメージング研究室ではシンポジウム「芸術のための科学技術」をシリーズで開催しています。

国内外から文化財保存や修復の専門家、文化財科学・文化財工学・材料工学などの研究者、文化財分析装置やソフトウェア開発者に参加頂き、文理の壁をこえた講演・意見交換を行ってまいりました。

第18回「芸術のための科学技術」は、京都大学工学研究科先端イメージング工学研究室の研究活動を紹介し、先端イメージング技術が可能にする文化財の科学的分析、保存と活用、そして文化財の未来への継承に向けた課題について検討する機会にしたいと思います。

また、文化財デジタル画像を教育・展示用コンテンツに利活用する上で重要となる表示技術を検討するため、4Kディスプレイを用いた文化財高精細デジタル画像の表示デモンストレーションを行います。

時間	プログラム
13:30	開場
14:00-14:15	挨拶 京都大学工学研究科 井手亜里
14:15-15:00	先端イメージング研究室における研究活動 京都大学工学研究科 井手亜里
15:00-15:30	仁和寺観音堂デジタル化プロジェクト 総本山仁和寺 金崎義真（予定）
15:30-16:00	二条城行幸図屏風のコンテンツ化プロジェクト 株式会社エーディエス 村上祥子（予定）
16:00-16:20	質疑応答

※事前登録・問合せ先 京都大学大学院工学研究科井手研究室  
e-mail: idelabku@gmail.com